

道徳教育の充実に向けて

～自尊感情や規範意識の醸成に向けた道徳科の授業改善～

北海道教育庁学校教育局義務教育課
令和4年3月

学校における道徳教育では、子どもたち一人一人に、将来に対する夢や希望、自らの人生や未来を切り拓いていく力など、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことが求められています。

北海道教育委員会では、道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業において、本道の子どもたちの自尊感情や規範意識の醸成に向けた授業改善を推進し、この度、道内小・中学校の協力を得て、実践事例を取りまとめました。

本資料に掲載しているQRコードからは、授業動画の一部を視聴することができますので、各学校において、道徳科の授業改善に向けた校内研修等で御活用ください。

【自尊感情の醸成に向けた実践事例：網走市立白鳥台小学校 第6学年】



- 主題名：「くじけないで」〔希望と勇気、努力と強い意志〕
- 教材：「自分を信じて－鈴木 明子」(光村図書「きみがいちばんひかるとき」)
- ねらい：より高い目標に向かって希望をもち、困難を乗り越えて物事をやりぬこうとする心情を育てる

【POINT】

- ・目標に向かい努力する中で直面する困難により葛藤が生じる場面において、自分を支えるものやくじけない人間の強さについて考えを深めることにより、自分の夢や希望に対し、強い心と意志でやり遂げようとする心情が育まれるよう工夫されています。
- ・日常の学級経営に基づく温かい人間関係の中で、児童一人一人の感じ方や考え方を伸び伸びと表現し合う活動が行われています。



【それぞれの考えを交流する活動】

「希望と勇気、努力と強い意志」の指導に当たって

苦しくてもくじけずに努力して物事をやり抜き、失敗を重ねながら夢を実現した人に触れ、希望をもつが故に直面する困難を乗り越える人間の強さについて考えることを通して、児童の中により積極的で前向きな自己像が形成されるようにすることが大切です。

【規範意識の醸成に向けた実践事例：小樽市立潮見台中学校 第1学年】

- 主題名：「法やきまりの意義」〔遵法精神、公德心〕
- 教材：「違反摘発」(教育出版「とびだそう未来へ」)
- ねらい：積極的に法やきまりに関わろうとする意欲や態度を育てる



【POINT】

- ・「遵法精神」や「家族愛」など、複数の道徳的価値の対立が生じる場面において、それぞれの立場の心情を理解しながら、考えを深めたり広げたりするなど、道徳的価値を多面的・多角的に考えることができるよう工夫されています。
- ・生徒一人一人が自分との関わりで考えを深めることができるよう、1人1台端末を効果的に活用しています。



【端末で他者の考えを知る活動】

「遵法精神、公德心」の指導に当たって

法やきまりは自分自身や他者の生活や権利を守るためにあり、それを遵守することの大切さについて自覚を促すとともに、自他の権利を大切にし、義務を果たすことで、互いの自由意志が尊重され、結果として規律ある安定した社会が実現することを理解した上で、社会の秩序と規律を自ら高めていこうとする意欲を育て、日々の実践に結び付ける指導を行うことが大切です。